



2018年11月30日

<報道発表資料>

宮城県東松島市
KDDI 株式会社
株式会社 KDDI 総合研究所
株式会社 KDDI エボルバ

東松島市と KDDI グループ、 地域活性化を目的とした連携に関する協定を締結

宮城県東松島市（市長：渥美 巖、以下 東松島市）と、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠）、株式会社 KDDI 総合研究所（本社：埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長：中島 康之）、株式会社 KDDI エボルバ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中澤 雅己）は、SDGs 未来都市（注1）に関する事業の推進による地域活性化を目的とした協定（以下 本協定）を 2018 年 11 月 30 日に締結しました。

2018 年 6 月 15 日に SDGs 未来都市として選定を受けている東松島市と KDDI グループは、これまで「東松島市への KDDI グループ社員出向」「スマート漁業（注2）」「農園事業（注3）」に取り組んできました。

今後は双方の資源を有効に活用することで、相互連携と協働による活動をより一層推進し、SDGs 未来都市として東松島市が進める持続可能なまちづくりの推進による地域の活性化を目的とし、以下のとおり取り組んでいきます。

(1) スマート漁業に関すること

2015 年度から東松島市浜市（はまいち）沖のシロサケ定置網を対象とした漁業の最適化に関する実証を実施してきました。今後、漁業者が活用しやすいスマートブイの開発、漁獲量予測の精度向上、シロサケ以外の魚種へ展開する実証を行うことで漁業の効率化を目指します。

(2) スマート農業に関すること

通信技術を活用した農作物の収量および食味の向上に関する実証を行い、持続的な地域の障がい者および高齢者の雇用に今後取り組んでいきます。

※点滴灌漑の技術を活用し、ミニトマトの水分調節をデジタル的に行うほか、甘みを高めていく技術や画像解析による摘果時期の判断を行うことを予定。

本協定を通じて、東松島市と KDDI グループは、相互連携と協働による活動を推進し、5G を見据えた ICT をはじめとする 4 者の資源を有効に活用することにより、東松島市の SDGs 未来都市を推進し地域活性化を図っていきます。

(注1) SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現する潜在能力が高いと選定された都市・地域
<<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22,12588,71,html>>



KDDI

KDDI
KDDI Research

KDDI Evolva

(注2) スマート漁業の実現に向けた新型スマートブイを開発

<<https://www.kddi-research.jp/newsrelease/2018/061901.html>>

(注3) 「幸 満つる 郷(さち みつる さと) KDDI エボルバ 野蒜」開所式を行いました

<<https://www.k-evolva.com/news/detail20170928.html>>

<参考>

・ KDDI の地域連携の取り組みについて

<<http://www.kddi.com/corporate/regional-initiative/>>

以上

【報道機関からのお問い合わせ先】

東松島市 復興政策部復興政策課 TEL (0225) 82-1111

KDDI 株式会社 東北総支社 管理部 TEL (022) 262-0698

株式会社 KDDI 総合研究所 営業・広報部 広報チーム TEL (049) 278-7464

株式会社 KDDI エボルバ 広報窓口 TEL (03) 5326-6462